

職員の皆さんへ

新年度がスタートして一か月が過ぎ、早くもゴールデンウィークの真ただ中を迎えますが、この後に予定されている「平戸海道渡海人まつり」や「いきつき春まつり」をはじめ、「平戸藩の春めぐり」と続く後半戦のイベントなどにより、観光客の受け入れで市内に賑わいがもたらされることとなります。直接の担当者でない皆さんも、積極的に最寄りのイベントに参加して職員の総力によって「春の成果」を挙げていただくよう期待しています。

さてこのところ予期しなかった動きが外部からもたらされるというまさに「チャンス到来」がいくつも見受けられます。例えば、全国で民泊サービスを提供しておられる民間会社・百戦錬磨さんからご提案いただいた「キャッスル・ステイ事業」という平戸城を舞台に一泊二日を、お側用人や腰元を従えて華やかな道行きで登城のうえ天守閣にご投宿という、まさに江戸時代にタイムスリップしたかのような殆どの人が味わったことのないお殿様気分を楽しむことができるという誠にユニークな企画もその一つです。

同社の上山康博社長は「歴史的な資源を活用することが地域活性化につながる」として、全国の城郭にオファーをしていたところ、今回は国内初の試みとして平戸城を舞台とする企画が実現するに至ったということです。ところがいざ蓋を開けてみたらなんと4月23日の期限までに7,428件の申し込みが殺到するなど、予想を上回る実績に上山社長の目論見が見事に的中したといえます。

そのおかげで平戸市の魅力と可能性がさらに広がるという相乗効果をもたらしています。まさに民間ならではの発想力に感謝感激です。

このことから市民のための行政に携わる我々としても、常にこれら民間活力が生み出す斬新かつ効果的な手法を見習って実務に反映させなければならぬと改めて感じました。

さらに外部からもたらされる「チャンス」はこれだけではありません。大阪市内の繁華街で平戸市公認アンテナ居酒屋『平戸港 大阪福島酒場』と『平戸港 天満酒場』がオープンしました。さらに今月20、21日には京都のイオンモール桂川店において、基礎自治体では初めてとなる『平戸フェア』が開催される運びとなりました。昨年までの首都圏における平戸ブランド展開がいよいよ関西圏においても広がることとなり、平戸市の認知度向上とあわせて今後の交流人口増大へと期待が膨らみます。

そして市内でも新たな動きが始まろうとしています。老舗の大型ホテル蘭風を買収した湯快リゾートさんは、いよいよ同ホテルの内装・改修を終え、名実

ともにリニューアル・オープンを迎えつつあります。同社は主に関西方面からの観光客をターゲットとしながら、同時に福岡都市圏の宿泊客の送迎を他のホテルに宿泊されるお客様も含めて幅広く受け入れるとともに、破格のお値段でバイキング料理を楽しむことができるサービスを市民にも発信していくこととしているようです。当然こうしたサービスは行政の許容範囲を超えたテリトリーであり、民間活力ならではの新たな事業であります。

これまで平戸は「本土の西の端で不便」とか「高速道路など交通網が未整備」などと言いつつ活気化できない現状に甘んじてきました。しかし、ここにきて気づかされるのが地域の魅力を掘り下げて官民で共有し、しっかりと発信することによって、たとえ地味な活動であってもそれを継続していけばいつしか実を結ぶということです。

今こそ「平戸」という名前は、全国民の知るところとなり、何か事業を起こしていくためのパートナーとして選ばれる数少ない候補地になりつつあるということです。そしてこの事実は、意外にもこれまで地元に住んでいる私たちが一番気づいていないのではないのでしょうか。

私のところには、このほかにもまだまだ複数のオファー案件が届いており、公式発表するにはもう少し時間が必要ですが、いずれにしても楽しみな展開が期待できます。

前にも申しましたが、重要なことは「限界点」を自分たちで決めつけないこと、そして過去から引きずる価値観に基づき思考停止しないことです。同じ「モノ」同じ「事実」を違った立場の人が見つめるだけで、それは予期せぬ価値や光を放つようになるかもしれません。そのために「よそモン」「変りモン」「若っかモン」の発想は必要不可欠と言えます。

日ごろ、私たちの目の届かないところにも、きっと地元平戸を愛する多くの第三者が居ることと思います。これからもこれらの人々をも巻き込んで、ふるさとづくりに邁進していきましょう。

さて、今月から省エネを目的としたクールビズで勤務することとなります。でもこれは、あくまで省エネのためのものですから、特に肌寒い時などはこれにこだわることなく心地よい職場環境を保つことに気を付けながら、地味でもいいからさりげない節度をもったスタイルで、毎日を無理なく効果的に過ごしてください。「本物のおしゃれ」とはそういうものだと思います。そして、市民の皆さんから信頼され愛される「いつもカッコいい市役所マン」で在りつづけて下さい。

以上、今月のことばといたします。

平成 29 年 5 月 1 日

平戸市長 黒田 成彦